

松野けんいちろう

市議会レポート

長岡の未来を切りひらく!

Vol. 16

市政に無関心でも無関係ではられない!!

討議資料

はじめに

ウイルス禍から抜けたということで、市民生活も元に戻りつつありますが、依然として、予断を許さないロシア・ウクライナ情勢、インフレ圧力やエネルギー・気候変動問題、経済安全保障をはじめ、国際社会は多くの複雑で困難な課題に直面しています。

新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付けが5類に見直され、景気も回復基調にあるものの、世界的な原材料価格の上昇や国内に

おける物価価格高騰など日々の暮らしには先行きに不透明感がただよっていることから、今後も市民生活に与えている状況をしっかり把握していかなければなりません。

引き続き、地域の皆さまの声を行政に届けてまいりますので、ご支援ご協力を心よりお願いいたします。

長岡市議会議員 **松野憲一郎**

2023年9月 定例会での質問

今後の消防団の在り方について

Q：消防団の減少が全国的にも話題になっている。人口減少や高齢化社会に向かう中で、様々要因があると思うが、消防団員の減少について本市の消防団員の現状について伺う。

A：令和5年4月1日現在の団員数は昨年より139人少ない3,245人。全国的にも減少を続けており、本市においても令和4年度より入団者は増加したもののそれ以上に退団者が多くなっている。



Q：消防団員減少の背景と理由について伺う。

A：少子高齢化による若年層の減少、消防団の85.9%がサラリーマンで、仕事や家庭の両立、働き方も多様化していること。また、近年のウイルス禍により対面により勧誘ができなかったことや消防演習を通じて地域住民など地域の方々に必要性、魅力をPRする機会が減ったことも要因であると考えます。

Q：第74回新潟県消防大会が4年ぶりに開催されたが、長岡市消防団の代表選考方法について伺う。

A：これまでは、県大会前に選考会を実施し、出場チームを決定している。しかし、ウイルス禍で4年ぶり開催となった今年度は、各方面隊から思うようなポンプ操法訓練ができていないなどの意見があり、代表選考は希望制とした。

Q：代表選考が希望制となり、代表チームが決定したということでしょうか。

A：消防団長からこれまで県大会に出場経験がある方面隊に依頼し、長岡川西方面隊第16分団、長岡北部方面隊、長岡西部方面隊第23分団の3チームが決定し出場した。

Q：ポンプ操法競技会は非常に歴史があると認識はしているが一方で、この競技会に向けての練習が一部では消防団員減少につながる要因の一つであるという意見もある。民間企業、行政でも働き方改革やワークライフバランスを重視する時代であることから消防団のポンプ操法競技会についても変革が必要と考えるが本市の認識について伺う。

A：ポンプ操法競技会を行っている団員の一部から競技会が負担になっているという意見がよせられている。長岡市に限らず、県内や全国のほかの消防団でも問題になっており、新聞やニュースなどでも報道されていることから大会を主催する新潟県及び新潟県消防協会もポンプ操法競技会の在り方について見直しを検討している。本市においても **独自に消防団幹部とともに来年度以降のポンプ操法競技会の代表選考や訓練方法など検討を行っている。**



松野のオ・モ・イ

過去には7・13水害、中越地震、中越沖地震、最近では台風の影響による信濃川増水対応、雪害対応など、近年災害が日常化している。こうした災害時は地域で消防団員の的確な判断と行動、多様な知識が備わっていることが重要であると思う。災害対応が多くなりつつある昨今、ドローン操作方法やチェーンソー取り扱いなど消防団が地域でのオピニオンリーダーになれる研修を取り入れるべきであると考えている。



Q：今後の消防団の在り方も時代に合わせ変化が必要と思うが、本市の考えを伺う。

A：消防団の役割や存在意義は、地域密着力、要員動員力、即時対応力という3つの特性を有する地域防災の中核であり、常備消防とともに公助を担いつつ、地域における共助の一翼を担う存在である。社会環境や団員の生活環境が変化していく中で、消防団員が減少し、団員一人一人の負担が増加していることから、長岡消防団組織等適正化委員会での議論を踏まえて、年額報酬の引上げ等、処遇改善や負担軽減を図っているところであるが、引き続き訓練の在り方、競技会の在り方について見直し、検討を重ねながら、消防団の意義、重症性、やりがいなどを広報、発信し、消防団の力を向上させていきたいと考えている。



中越地震献花



四郎丸小150周年記念式典に出席



通学路の安全確認(学校町)



フードバンクながおか 寄贈の立ち会い

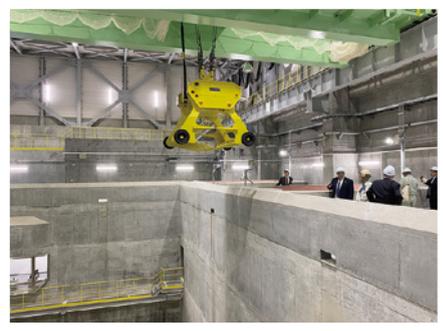


対応前



対応後

シンボルロード 伐採要望対応(土合三丁目)



中之島新ごみ処理施設(仮称) 整備事業視察

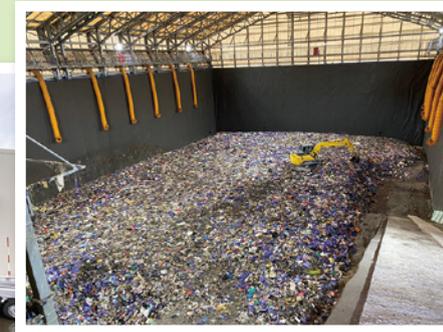


対応前



対応後

シンボルロード 噴水排水口要望対応



柿最終処分場第二埋立地視察



電気工事組合・電機商業組合・電設業協会 市政要望立ち会い

